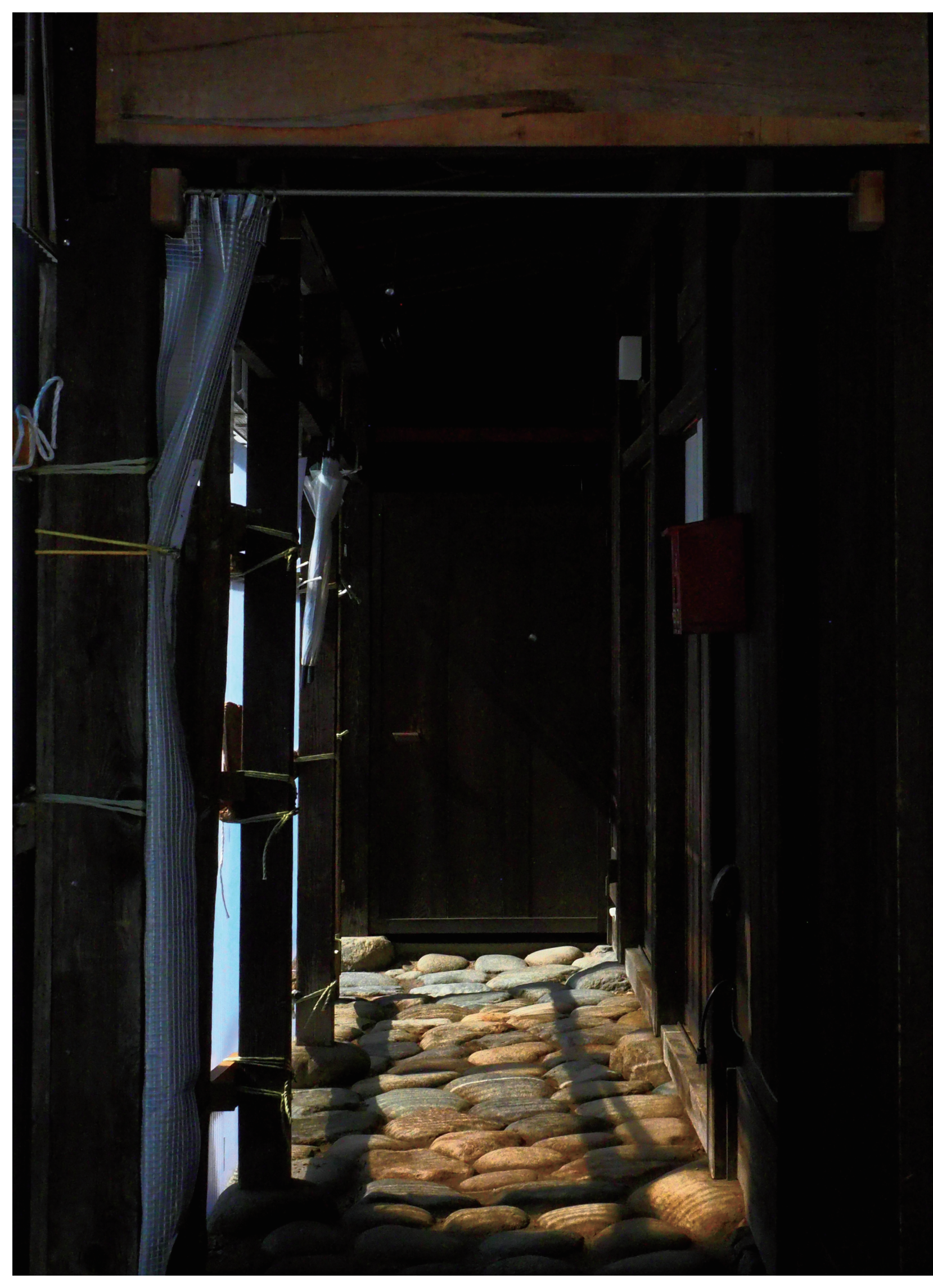




－ 闇の中 やさしく揺れる光に惹かれて －

潜 光

せ ん こ う

細い通路に、そっと光が差し込む。

深い闇に包まれた世界の中で、石畳の上に柔らかな光が広がり、
静かに息づくようにその場を満たしてゆく。

陰影が揺らぎ、光と影が囁き合う。

その瞬間、ふと足が止まり、心が引き寄せられる。

まるで、その先に秘められた何かが、静かにこちらを待っているかのように。

潜光はただの光ではない。

それは、見る者をそっと誘い、想像をかきたてるささやき。

石畳に映るその光は、まるで生きているかのように震え、

静けさの中にぬくもりを灯す。

潜光に抱かれ、

通路はただ通り過ぎるためのものではなく、

立ち止まり、光を感じ、思考を巡らせるための場所となる。

沈黙の中に満ちる豊かな表情が、ここに息づいている。